

世界の主な地震

令和2年（2020年）3月に世界で発生したマグニチュード（M）6.0以上または被害を伴った地震の震央分布を図1に示す。また、その震源要素等を表1に示す。

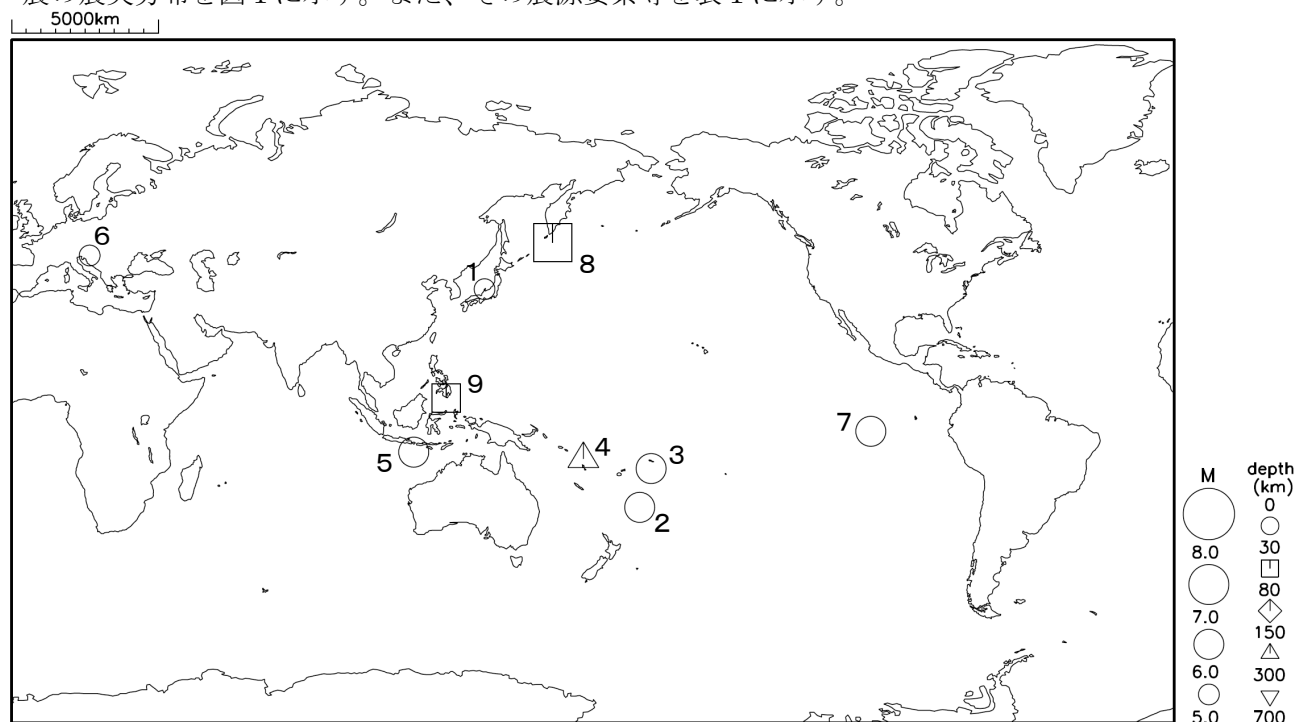


図1 令和2年（2020年）3月に世界で発生したM6.0以上または被害を伴った地震の震央分布

表1 令和2年（2020年）3月に世界で発生したM6.0以上または被害を伴った地震の震源要素等

番号	地震発生時刻	緯度	経度	深さ (km)	mb	Mj	Mw	震央地名	備考 (被害状況など)	北西	遠地
1	13日02時18分	N37° 16.7′	E136° 49.4′	12		5.5	(5.3)	石川県能登地方	軽傷者2人		
2	14日19時01分	S27° 25.1′	W175° 41.0′	10			6.3	ケルマデック諸島			
3	18日01時06分	S16° 01.5′	W172° 11.4′	10			6.0	サモア諸島			
4	18日12時13分	S13° 08.2′	E167° 04.0′	179			6.1	バヌアツ諸島			
5	19日02時45分	S11° 03.7′	E115° 08.6′	20			6.2	インドネシア、バリ南方			
6	22日14時24分	N45° 53.8′	E 15° 57.9′	10			5.4	クロアチア	死者1人など		
7	23日07時38分	S 4° 40.6′	W104° 56.9′	10			6.1	東太平洋海嶺中部			
8	25日11時49分	N48° 59.1′	E157° 41.5′	57		7.5	(7.5)	千島列島東方		○	
9	27日00時38分	N 5° 34.5′	E125° 03.1′	59			6.1	フィリピン諸島、ミンダナオ			

- 震源要素は米国地質調査所(USGS)ホームページの”Earthquake Archive Search & URL Builder” (<http://earthquake.usgs.gov/earthquakes/search/>) による（2020年4月1日現在）。ただし、日本付近で発生した地震の震源要素、Mjの欄に記載したマグニチュード、Mwの欄に括弧を付して記載したモーメントマグニチュードは、気象庁による。
- 3月25日の千島列島東方の地震のMjの欄に記載したマグニチュード、Mwの欄に括弧を付して記載したモーメントマグニチュードは、気象庁、その他の震源要素はUSGSによる。
- 被害状況は、出典のないものはOCHA（UN Office for the Coordination of Humanitarian Affairs：国連人道問題調整事務所）、国内は、総務省消防庁による。
- 地震発生時刻は日本時間〔日本時間＝協定世界時＋9時間〕である。
- 「北西」欄の○印は、気象庁が北西太平洋域に提供している北西太平洋津波情報（NWPTA）（※）を発表したことを表す。
- ※気象庁ホームページの「国際的な津波監視体制」（<https://www.data.jma.go.jp/svd/eqev/data/joho/nwpta.html>）参照。
- 「遠地」欄の○印は、気象庁が「遠地地震に関する情報」を発表したことを表す。
- 深さに「*」を付したものは、気象庁によるCMT解のセントロイドの深さを表す。

3月25日 千島列島東方（北西太平洋）の地震

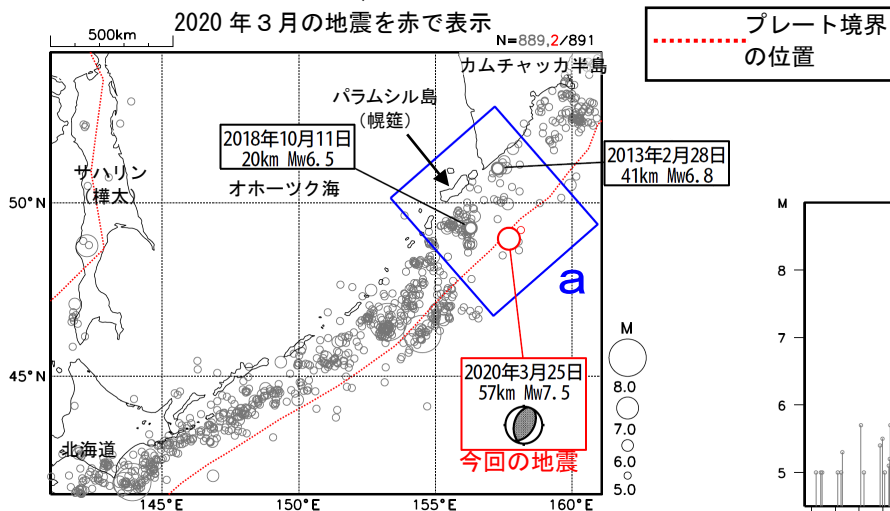
2020年3月25日11時49分（日本時間、以下同じ）に、千島列島東方の深さ57kmでMw7.5（気象庁によるモーメントマグニチュード）の地震が発生した。この地震は太平洋プレートの内部で発生した。この地震の発震機構は西北西－東南東方向に圧力軸を持つ逆断層型である（気象庁によるCMT解）。この地震により、北海道から東北地方太平洋側までの13市町村で震度1を観測した。また、気象庁は、この地震に対して、「各地の震度に関する情報」の中で、「日本の沿岸で若干の海面変動あり」との呼びかけを行った。この地震により、千島列島のPARAMIL（幌筈）島で0.5m（目視）、カリフォルニア州クレセントシティで0.11m等、津波を観測している（アメリカ海洋大気庁（NOAA）による）。

2000年以降の地震活動をみると、今回の地震の震央周辺（領域a）ではM6.0以上の地震が時々発生している。

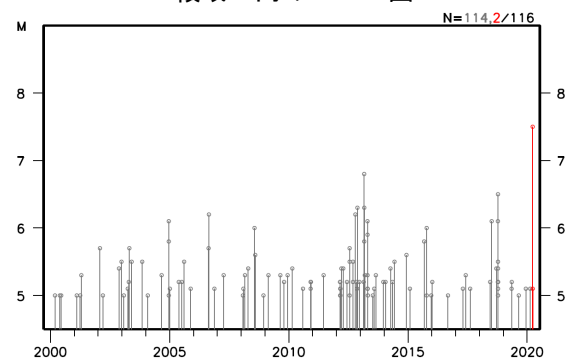
1980年以降の地震活動をみると、千島列島（領域b）ではM7.0以上の地震が時々発生している。2006年11月15日に千島列島東方で発生したMw8.3の地震では、津波が発生し、三宅島坪田で84cmの他、北海道から沖縄県宮古島・八重山地方までの主に太平洋側沿岸、及び小笠原諸島で津波が観測された。

震央分布図

（2000年1月1日～2020年3月31日、深さ0～100km、
M $\geq$ 5.0）

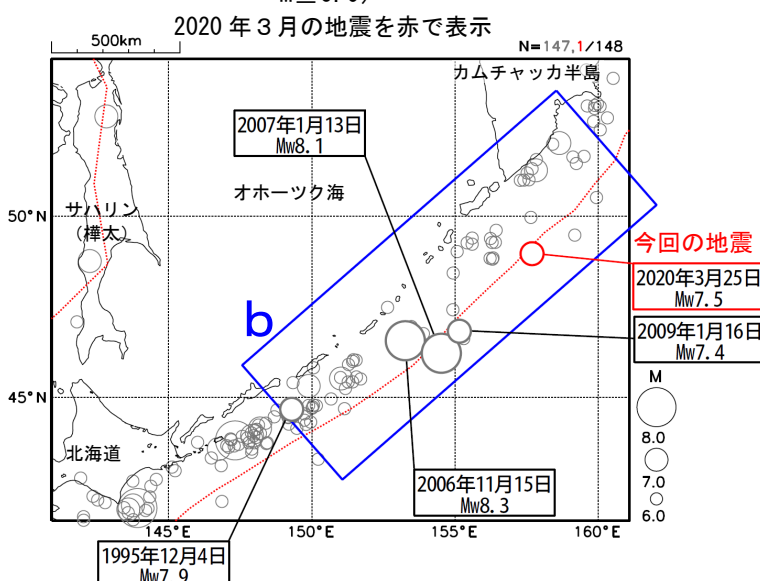


領域a内のM-T図

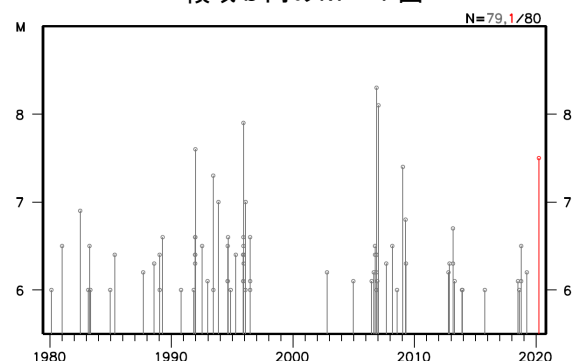


震央分布図

（1970年1月1日～2020年3月31日、深さ0～100km、
M $\geq$ 6.0）



領域b内のM-T図



※本資料中、図中の吹き出しのある地震のマグニチュードについて、今回の地震は気象庁、それ以外はグローバルCMTによるモーメントマグニチュード（Mw）である。その他の震源要素は、米国地質調査所（USGS）による（データ入手日：2020年4月1日）。プレート境界の位置はBird（2003）*より引用。地震の被害状況について、出典のないものはOCHA（UN Office for the Coordination of Humanitarian Affairs: 国連人道問題調整事務所）による。

*参考文献

Bird, P. (2003) An updated digital model of plate boundaries, *Geochemistry Geophysics Geosystems*, 4(3), 1027, doi:10.1029/2001GC000252.

気象庁作成